

船上から知る地元の海

神奈川大・山形大生 シーカヤック体験



シーカヤックを楽しむ学生たち
＝日本丸シーカヤックパーク

神奈川大学と山形大学の学生が30日、横浜港を舞台にし「海の体験学習」でシー

カヤックに初挑戦した。高層ビル群に囲まれた穏やかな水域でパドルを操りながら、海の環境への理解を深めていた。

学生28人はこの日、横浜・みなとみらい21(MM21)地区の日本丸シーカヤックパークでシーカヤックに乗船。海洋ジャーナリスト内田正洋さんと、NPO法人横浜シーフレンズのメンバークからこぎ方や転覆した際の脱出方法などを教わった。体験学習は9月1日まで開かれる。

シーカヤックの体験学習は2011年度から。今年は4月に包括的連携協定を結んだ山形大の学生2人が特別受講生として参加した。同大工学部の阿部翼さん(19)は「海は穏やかで、水質は想像以上にきれいなので気持ち良くていいことができた」と笑顔だった。

神奈川大は21年4月に「みなとみらいキャンパス」の開設を予定している。同大経営学部の関口博正教授は「開かれた水辺がある横浜の特性を知り、横浜港の将来を考えるきっかけになれば」と話した。

(三木 崇)